

- 釧路森林資源活用円卓会議シンポジウム -
**地域資源「森林」を
まるごと利用するために！**

基調講演 地域資源「森林」のまるごと利用
＜地域密着型のソーシャルビジネス＞



牧 大介 氏

〔株式会社西粟倉 森の学校 代表取締役
株式会社トビムシ 取締役〕

共有の森ファンドによる「百年の森林創造事業」や商品作り・情報発信、各種ツアー開催等を行う「森の学校事業」を展開

**パネルディスカッション
都市住民も共感！森の恵みの伝え方**

(パネリスト)

- ・(株)西粟倉 森の学校 代表 牧 大介氏
- ・(株)丸善木材 専務 鈴木一浩氏
- ・NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構 旅行部
ツアーデスク 阿部 誠氏

* U - STREAM 配信も実施いたします。

配信 URL : <http://www.ustream.tv/channel/kucsch01>

日時 2013年 1月 24日 (木)
午後 1時 ~ 3時

場所 釧路プリンスホテル 3階

*** 入場無料**

当日、釧路市で開発した学校机等の木製品も展示いたします。



主催：釧路森林資源活用円卓会議、釧路市

後援：北海道釧路総合振興局、根釧西部森林管理署

＜問合せ＞ 釧路市農林課 網倉 TEL: 0154-66-2121 (内線 7333)

FAX: 0154-66-2223

（開催目的）

東日本大震災以降、地域資源としての森林・木材を生かした持続可能な社会形成についての関心が高まっています。特に、固定買取制度による木質バイオマスビジネスの動きや大手企業（不動産会社等）における CSV（Creating Shared Value）という形での間伐材利用の動きなど、新しい動きも始まってきています。こうした中で、先進的かつ地域資源を使い切る取り組みとして、共有の森ファンドによる「百年の森林創造事業」や商品作りや情報発信、各種ツアー開催等を行う「森の学校事業」を展開している西粟倉村およびそれを支えるスタッフの取組があげられます。

釧路市では、H22から木材産出（川上）側から木材利用側（川下）までの様々な関係者が一堂に会する「釧路森林資源活用円卓会議」により、森林資源活用方法や付加価値を高めた地域材利用方法についての検討を行ってきました。

今回、複数のビジネスモデルを総合的に展開する地域密着型のソーシャルビジネスの先進事例や地域の関係者との意見交換により、今後の取組を進める参考にしていきます。

（講演講師 略歴）

牧大介氏

京都大学大学院農学研究科(森林生態学研究室)修了。三和総研(現三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング)研究員、京都大学大学院(森林生態学研究室)修了後、民間シンクタンクを経て2005年アミタ持続能経済研究所設立に参画し、所長に就任。専門は森林・林業、農村漁村振興、生態学、環境民俗学など。FSC 認証制度を活用した森林集約化や林業経営改善をはじめ、農山漁村での新規事業を多数プロデュース。現在は岡山県西粟倉村で森林の活性化事業に取り組んでいる。西粟倉村の創造・発信機能を担う地域商社、株式会社西粟倉・森の学校代表取締役社長。地域再生事業を行い、共有の森ファンドなどを手がける株式会社トビムシ取締役を兼務。

（パネリスト）

(株)丸善木材専務 鈴木一浩氏

「木に関する限り不可能は無い！」をモットーに、北海道の木へのこだわり、様々な方面での木質化に取り組んでいる。



NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構 旅行事業部
ツアーデスク 阿部 誠氏

前田一步園の「光の森ウォーキング」など阿寒湖周辺の自然を多彩なガイドが案内する旅行事業部のツアーデスク。

（申込方法）

・別紙申込フォームにて1月22日（火）までに申込みいただくか、下記担当までお問い合わせください。

（問い合わせ先）

釧路市農林課 網倉 TEL:0154-66-2121(内線 7333)

主催：釧路森林資源活用円卓会議、釧路市
後援：北海道釧路総合振興局、根釧西部森林管理署

釧路森林資源活用円卓会議シンポジウム

??

参加申込書

FAX: 0154-66-2223

E-mail: no-nourin@city.kushiro.lg.jp

釧路市産業振興部農林課 農林振興担当 行き

所属(会社名等): _____

(電話番号: _____)

職名	氏名	備考

1月22日(火)までに提出していただきますようお願いします。